

昭和四年 茨城縣統計書第二編 學事ノ部

管 內 學 事 ノ 狀 況

總 說

本縣ニ於ケル學事施設ノ狀況ハ大体從來ノ方針ニ基キ施設經營ノ歩ヲ進メ之カ發達進歩ヲ期シツ、アリト雖モ時勢ノ推移ニ伴ヒ教育振興上尙改善ヲ必要トスル所アルヲ認メ初等教育、師範教育、實業教育、社會教育等夫々内容ノ刷新充實ヲ圖リ其ノ實蹟ヲ收メムコトニ努メタリ即兒童ノ増加ニ伴ヒ地勢ノ事情ト市町村財政トヲ參酌シ教育資金ノ貸付基本財産ノ繰入ニ夫々便宜ヲ與ヘ以テ校地ノ擴張、校舍ノ増、改築、教授用器具、機械等設備ノ改善充實ヲ圖リツ、アリ、又教員講習會、研究會、協議會ヲ開催シ教職員ノ素質ノ改善ト資格ノ向上學力技能ノ修練トニ努メツ、アリ而シテ之カ監督指導ヲ周到ナラシムル爲學事指導員ヲ囑託シ中等教育及初等教育ノ指導獎勵ニ當ラシメ尙教員俸給並ニ年功加俸ノ増額、住宅料疾病療治料ノ給與、功勞者ノ表彰等ヲ行ヒ教員優遇ノ實ヲ舉ケムコトニ努メタリ

社會教育ノ普及發達ヲ圖ラムカ爲圖書館又ハ巡回文庫ノ設置ヲ獎勵スルト共ニ展覽會、講話會、講習會ヲ開催セシメ青年團ニ就テハ國民精神作興ニ關スル詔書ノ御趣旨ヲ恪遵シ、内務、文部兩大臣ノ訓令ニ依リ本縣ノ實狀ニ鑑ミ智德ノ練磨ト体育ノ向上トヲ圖リ日進ノ大勢ニ遅レサラムコトヲ期シツ、アリ、尙補習教育ノ發達ニ順應シテ益々善良ナル氣風ヲ養成スルト共ニ思想ノ善導ヲ圖ラムカ爲、各地ニ青年幹部講習會、處女會指導者講習會等ヲ開催シ、青年訓練所ニ於テハ常ニ精神ノ修養ト身體ノ鍛鍊トニ意ヲ用ヒ、兵營ノ參觀、行軍、演習見學等ヲナシ其歸趨ヲ過ラシメサルコトニ努メタリ更ニ學校教育ト社會教育乃至ハ實業界トノ連絡ニ關シテハ常ニ其交渉ヲ密接ナラシメ互ニ裨補提携シテ其ノ事業ノ振興ヲ圖ラシメツ、アリ、又視學打合會、各學校長會、其ノ他學事關係職員會ヲ開催シテ學事上ノ施設監督指導等ニ關スル指示、協議ヲナシ苟モ遺漏ナカラシムルコトヲ期シタリ

本年度内ニ於テ學事ニ關シ令達シタルモノヲ列舉スレハ次ノ如シ

縣 令

縣立水戸商業學校學則中改正 (昭和四年四月三十日)
(縣令第十六號)

青年訓練所令施行細則中改正 (昭和四年四月三十日)
(縣令第十七號)

湊商業學校設立者及種類變更 (昭和四年四月三十日)
(縣令第十八號)

縣立農學校學則制定 (昭和四年五月三日)
(縣令第十九號)

學校醫、幼稚園醫、及青年訓練所醫規則制定 (昭和四年五月二十五日)
(縣令第二十號)

小學校教員住宅費縣費補助規程廢止 (昭和五年二月十四日)
(縣令第八號)

訓 令

學事年報取調條項及諸表報告規程中改正 (昭和四年七月二日)
(縣訓令甲第十八號)

大正九年十一月茨城縣訓令甲第五十號廢止(男女青年團體ニ關スル調査) (昭和四年七月十六日)
(縣訓令甲第十九號)

學事年報取調條項及諸表報告諸程中改正 (昭和五年二月十二日)
(縣訓令甲第五號)

告 示

那珂郡湊町立青年訓練所位置變更 (昭和四年四月十六日)
(告示第百九十六號)

新治郡中家村青年訓練所併合 (昭和四年四月十九日)
(告示第百二十二號)

久慈郡西小澤村小學校數竝位置變更ノ件 (昭和四年五月三日)
(告示第百二十九號)

那珂郡鹽田第二尋常小學校位置變更 (昭和四年五月二十一日)
(告示第百六十三號)

圖書館巡回書庫開設 (昭和四年五月二十八日)
(告示第百八十二號)

久慈郡幸久村藤田分教場廢止 (昭和四年六月十四日)
(告示第百三十六號)

夏期文庫開設場所 (昭和四年七月十二日)
(告示第百六十七號)

鹿島郡德宿村尋常小學校新設 (昭和四年八月二日)
(告示第百八號)

青年訓練所々旗樣式 (昭和四年九月六日)
(告示第百七十四號)

筑波郡鹿島村西檜戸分教場廢止 (昭和四年九月十日)
(告示第百七十八號)

茨城縣獎學資金歲入歲出追加豫算外三件ノ要領 (昭和四年十月一日)
(告示第百八號)

東茨城郡西鄉尋常小學校位置變更並分教場廢止 (昭和四年十月十五日)
(告示第百二十八號)

筑波郡板橋村小學校數變更 (昭和四年十月十八日)
(告示第百三十五號)

茨城縣體育獎勵基金管理規則 (昭和四年十二月二十日)
(告示第百六十八號)

茨城縣石岡實科高等女學校授業料額改定 (昭和五年三月四日)
(告示第百八十九號)

學 齡 兒 童

學齡兒童ノ總數ハ二十八萬四千九十九名ニシテ内男十四萬四千九十九名女十三萬九千四百名ニシテ前年ニ比スレハ男二千八十八名女二千五百十六名ヲ増加セリ而シテ就學兒童總數ハ二十四萬千七百七十六名ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ男千二百十三名女千六百七十九名ヲ増加シタリ就學始期ニ達シタル學齡兒童ニ對スル就學歩合ヲ觀ルニ男九十九人五分七厘女九十九人三分平均九十九人四分四厘ニシテ之ヲ前年ニ對比スレハ男ニ於テ一厘ヲ減シタルモ女ニ於テ三厘ヲ増シ平均ニ於テ一厘ノ増加ヲ示セリ就學及出席ノ督勵ニ關シテハ常ニ法規並通牒ノ定ムル所ニ依リ或ハ町村吏員、學校職員、學務委員ヲ督勵シテ專ラ勸誘ニ當ラシムルト共ニ學齡兒童保護會及市町村教育會ノ活動ヲ促シ或ハ部落相互兒童ノ出席督勵ニ從事セシメル等各種機關ヲ通シ之カ實行ニ努メツ、アリ

就學猶豫免除ノ處分ヲ了シタルモノハ大部分其ノ原因疾病不具者ニシテ貧困ニ原因スル者殆ント無ク之等貧困兒童ノ救済ニ關シテハ兒童就學獎勵規程ニ依リ町村ヲシテ相當經費ヲ支出セシメ縣ヨリ之カ補助金ヲ交付シ救済ノ方法ヲ講シ就學出席ノ獎勵ヲ行ヒツ、アリ

學齡兒童ノ調査ニ關シテハ隨時吏員ヲ町村ニ派シ學齡簿、學籍簿、出席簿、其ノ他就學事務ノ檢閲ヲ行ヒ指示注意ヲ與ヘ努メテ帳簿ト實際トノ一致ヲ圖ラシメム様努メタリ尙小學校令第三十六條第一項ノ但書ニ依ルモノ、内師範學校附屬小學校ニ於テ修業スル者ハ男二百九十二人女三百人ニシテ家庭又ハ其ノ他ニ於テ修ムル者ハ男十九人女九人ナリ

小 學 校

小學校數ハ市町村立尋常小學校百四十三校分教場五校尋常高等小學校三百九十五校分教場百十二校計六百五十五校ニシテ之ヲ前年ニ對比スレハ尋常小學校ニ於テ一校減シタルモ尋常高等小學校ニ於テ一校増加シ尋常高等小學校分教場ニ於テハ三校廢止セラレタリ學校ノ設備ニ在リテハ年々督勵ノ結果漸次完備ノ域ニ達セムトシツ、アルモ逐年兒童ノ増加スルヲ以テ校舍ノ増改築、校地ノ擴張ヲ要スルモノ尙尠カラス市町村立小學校ノ學級ハ尋常科四千八十四學級高等科九百四學級補習科一學級計四千九百八十九學級ニシテ之ヲ前年ニ對比スレハ八十五學級ヲ増加シタリ而シテ其編制タルヤ尋常科ハ單學級ヨリ三十六學級ニ至ル内最多ナルハ六學級ニシテ三學級之ニ亞キ高等科ハ單學級ヨリ十八學級ノモノニ至ル内最多ナルハ二學級ニシテ單級ノモノ之ニ亞ケリ又制限超過編成ヲナスモノハ尋常高等小學校ニ於テ二十六學級一校、二十七學級一校、二十八學級一校、二十九學級二校、三十二學級一校、三十三學級一校、三十四學級二校、三十七學級二校、四十一學級一校、四十四學級一校アリ

學校配置ノ狀況ハ概シテ適當ノ位置ニアリ而シテ特ニ兒童通學上困難ナル地ニ在リテハ分教場ヲ設置シ又ハ通學道路ノ改修ヲナサシメ敷地ノ位置變更ヲナス等督勵ヲナシツ、アルヲ以テ通學上著シキ不便ヲ認メス補習科ノ設置シアルハ尋常高等小學校一校ニシテ前年ニ比シ増減ナキヲ以テ特記スヘキ事項ナシ加設科目ハ尋常小學校ニ於テ手工ヲ課スルモノ五十八校分教場一校計五十九校尋常高等小學校ニ於テ尋常高等兩科共課シ尋常科手工高等科英語ヲ課スルモノ十二校尋常科ノミ手工ヲ課スルモノ二百四十三校分教場二十七校高等科ニ英語ヲ課スルモノ六校計二百八十八校總計三百四十八校ニシテ孰レモ該科加設ノ目的ニ從ヒ内容ノ改善ヲ圖リツ、アリ

授業料ニ於テハ尋常科ハ徵收セサル方針ナルモ市財政上止ムヲ得ス尋常小學校四校尋常高等小學校尋常科一校計五校徵收シアレトモ貧困兒童ニ對シテハ相當減免ノ方法ヲ講シツ、アルヲ以テ義務教育普及上別ニ支障ヲ認メス

教員ノ需要供給ニ關スル縣内小學校ノ教員充實歩合ヲ示セハ次ノ如シ

學 級 數	男 女 別	本科正教員	専科正教員	准 教 員	代 用 教 員	計	學級ニ對スル 本科正教員充 實歩合
4,988	男	3,122	185	387	316	4,010	81.19
	女	928	403	59	197	1,587	
	計	4,050	588	446	513	5,597	

上表ノ如ク本科正教員ハ四千五十人ニシテ學級數四千九百八十八學級ニ比スレハ八十一人一分九厘ノ配置ニ當ル而シテ教員ノ不足並其ノ素質ノ良否カ兒童教育上ニ及ホス影響頗ル甚大ナルヲ以テ前述セル如ク改善ニ努力シ本科正教員ノ充實歩合向上ニ努ムヘク應急策トシテ縣教育會ヲシテ中等學校卒業生ノ爲本科正教員養成講習會ヲ現職教員ニ對シ夏季冬季ニ於テ資格向上養成講習會ヲ開催セシメ試験ノ上正教員免許狀ヲ授與シタルト毎年定期ニ小學校教員檢定試験ヲ施行シ其ノ資格ノ向上ヲ計リ需用供給ノ圓滑ヲ計リツ、アリ

教員ノ任免ニ就テハ特ニ慎重ニシ可成勤續ヲ獎勵シ一面ニ於テハ市町村ヲシテ義務教育國庫負擔金ノ大部分ヲ以テ教員俸給ニ充當セシメ待遇ノ向上ヲ圖リ尙住宅施設住宅料賃借料等經濟ノ許ス限リ優遇ノ方法ヲ講セシメツ、アリ

幼 稚 園

幼稚園ハ公立七園私立十一園ニシテ前年ニ比シ私立ニ於テ一園ヲ増加セリ而シテ其ノ設備ハ公立ニアリテハ稍完備ノ域ニ達シツ、アルモ私立ニアリテハ尙設備ノ充分ナラサルモノアルヲ認ム、幼兒數ハ男六百八十五人女六百六十七人ヲ收容シ保姆有資格者四十一人無資格者七人ニシテ保姆一人ニ對シ保育幼兒平均二十八人ニ當ル入園志願者ハ逐年増加ノ傾向ニシテ又保育ノ狀況概シテ良好ナル成績ヲ收メツ、アリ

師 範 學 校

師範學校ハ縣立二校ニシテ其ノ設備ニ關シテハ逐年完備ヲ期シツ、アリト雖モ校具、器械、標本等尙舊式ニ屬スルモノ尠カラスシテ殊ニ專攻科設置ノ關係上改善補充ヲ要スルモノアリ、教員ノ需要供給、轉免俸給其ノ他待遇上ニ關スル狀況ニ就キ略記スルニ教員ノ多クハ勤續多年ニ亘ルト雖モ、本年度内ニ於ケル異動ハ轉任者九名退職者七名休職者一名ナリ、俸給平均額ハ教諭千四百八十圓訓導八百三十六圓ニシテ年功加俸ハ教諭百六十八圓乃至七十二圓訓導百四十四圓乃至四十八圓ニシテ待遇ノ途モ漸次改善向上セラレツ、アリ

有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別ハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員											無 資 格		計				
	高等師範 學校又ハ 女子高等 師範學校 卒業	臨時教員 養成所又 ハ賞業教 員養成所 卒業	無 資 驗 檢 定 ニ 依 ル モ ノ						試驗檢 定ニ依 ルモノ	計								
			官立大 學校卒 業	公私立 大學校 卒業	專門學 校卒業	實業專 門學校 卒業	其ノ他ニ 依ル者											
								男			女	男	女	男	女	男	女	男
美 城 縣 師 範 校	10	—	3	—	6	—	1	—	4 ×1	—	1	—	2	5	32 ×1	—	△3 ×△2	—
美 城 縣 女 子 師 範 校	6	3	2	1 ×△1	1	—	2	—	×△1	—	—	—	2	2	1 ×△2	13 7	△1 ×△1	2
計	16	3	5	1 ×△1	7	—	3	—	4 ×1 ×△1	—	1	—	2	7	1 ×1 ×△2	45 7	△4 ×△3	2
																	△3 ×△5	9

×印ハ兼務者 △印ハ囑託講師

生徒訓育ノ狀況ハ教育ニ關ルス勅語ノ御趣旨ニ基キ大体前年度來ノ方針ニ則リ特ニ學校長ハ必要ニ應シ隨時訓話ヲ行ヒ生徒ノ自覺修養ヲ促シ校風ノ樹立ヲ圖リ常ニ思想ノ善導ニ留意スルハ勿論各學科教授ノ際機會アル毎ニ教育者タルノ品性陶冶ニ努メ以テ其ノ信念ヲ鞏固ニシ且體育方面ニ於テモ從來ノ施設ヲ一層徹底的ニ自覺的ニ實行セシメ身體ノ鍛練ト健康ノ増進トヲ圖リツ、アリ、生徒教練ニ關シテハ本科第一部第五學年同第二部生徒ノ夏季二週間第四學年生徒ノ冬期一週間ノ軍事講習ハ共ニ心身ノ修練ニ資シ軍事ノ理解ニ利シ其成績特ニ顯著ナルヲ認メタリ

生徒ノ學業ニ就テハ自學自習、自發的活動ニ訴ヘテ研究的態度ヲ養ヒ、寄宿舍、圖書室、縣立圖書館等ヲ利用セシメ、又實驗、實習ヲ重ンシ課程ノ外實地見學ヲナサシメ、實際的智識技能ヲ啓培シ興味ト努力トヲ喚起スル様指導シタル結果學業ノ成績モ漸次進歩ノ狀況ナリ

生徒ノ修學旅行ハ地理、歷史、理化ニ關スル實地踏査博物採取、又ハ參觀ノ目的ヲ以テ關西、北陸、關東、東北ノ各所ニ又ハ縣内數ヶ所ニ旅行セシメ豫定ノ目的ヲ達シ尠カラズ其ノ效果ヲ收メタリ

入學志願者ハ千七百四十一名ニシテ前年ニ比シ百九十九名ノ激增ヲ見タリ、之カ入學率ハ二十人三分九厘ノ狀況ニアリ大正十四年以降ノ入學志願者ヲ示セハ次ノ如シ

	大 正 十 四 年	全 十 五 年	昭 和 二 年	全 三 年	全 四 年
師範學校	第一部 658 第二部 163 專攻科 —	461 245 33	490 227 67	543 432 56	658 454 42
全女子師範校	第一部 495 第二部 157 專攻科 —	266 69 25	247 78 11	378 123 10	438 139 10
計	第一部 1,153 第二部 320 專攻科 —	727 314 53	737 305 78	921 555 66	1,096 593 52

尙入學者父兄ノ職業別ハ次表ノ如シ

學 校 名	農 業	水產業	鑛 業	工 業	商 業	交通業	公務業	其ノ他 有業者	家 事 人 使用人	無職業	計	
茨城縣師範學校	第一部	76	—	—	4	11	1	24	—	—	3	119
	第二部	57	—	—	2	5	2	7	—	—	5	78
	專攻科	31	—	—	—	—	—	2	—	—	—	33
全女子師範學校	第一部	34	1	—	4	12	—	21	5	—	3	80
	第二部	10	—	1	2	5	—	12	2	—	3	35
	專攻科	8	—	—	—	—	—	2	—	—	—	10
合 計	第一部	110	1	—	8	23	1	45	5	—	6	199
	第二部	67	—	1	4	10	2	19	2	—	8	117
	專攻科	39	—	—	—	—	—	4	—	—	—	43

本年度卒業生ハ師範學校本科第一部八十八名第二部七十五名專攻科三十三名女子師範學校第一部七十一名第二部三十七名專攻科十名ニシテ執レモ縣下各小學校ニ就職シタリ

附屬小學校ハ二校アリ外ニ村立小學校ヲ代用附屬小學校トシタルモノ一校アリ其ノ設備稍備ハレリ、兒童ノ教育ニ關シテハ大體從來ノ方針ヲ繼承シ教授ハ實力養成ヲ主眼トシ智識技能ヲ確實ニ取得セシメ自學的態度ヲ訓致育成スルコトニ努メ以テ教授學習ノ徹底ヲ期セリ、尙教授法ノ改善ニ努ムルト共ニ兒童心身ノ發達ニ留意シ學校ト家庭トノ連絡ニ就キテハ雜誌ヲ發行シ保護者會ノ活動ヲ促シ家庭ヲ訪問スル等協力的ニ兒童ノ教養ノ效果ヲ高ムルコトニ努メツ、アリ、又地方諸會合ノ招聘ニ應ジ主事及訓導ハ講話或ハ實地指導ニ出張シ又地方ヨリ來觀スルモノ一層増加ノ傾向ニアリ尙縣下小學校聯合研究會ヲ女子師範學校及其ノ他諸學校ニ開催シ農業科地理科等ノ指導等ニ關スル共同研究ヲ遂ケタリ

中 學 校

中學校ハ縣立十校私立一校ニシテ其ノ設備ノ狀況ハ教育ノ普及ニ伴ヒ學級、生徒ノ増加スルヲ以テ校舍寄宿舍ノ増改築ヲ要スルモノ教具校具ノ設備不充分ナルモノアルヲ以テ着々之カ整備充實ヲ圖リツ、アリ有資格教員免許狀ヲ受得シタル事由別人員ヲ舉クレハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員												無 資 格		總 計									
	高等師範學校又女子師範學校卒業		臨時教員養成所又實業教員養成所卒業		無 試 驗 檢 定 ニ 依 ル モ ノ						試 驗 檢 定 ニ 依 ル モ ノ													
					官立大學校卒業		公私立大學校卒業		專門學校卒業		實業專門學校卒業		其ノ他經驗ニ依ル者		計									
															計									
															男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
茨城縣立水戸中學校	2 ×1	—	2	—	3 △1	—	1	—	6	—	—	—	1	—	10 △1	—	25 △2 ×1	—	4	—	△ 2 × 1	29		
茨城縣立太田中學校	×	1	—	×	1	—	2	—	3	—	4	—	—	—	2	—	5 △1	—	18 △1 ×2	—	3	—	△ 1 × 2	21
茨城縣立土浦中學校	1 △1	—	1	—	1 ×1	—	6	—	2	—	1	—	—	—	6	—	18 △1 ×1	—	1	—	△ 1 × 1	19		
茨城縣立下妻中學校	×	1	—	1	—	1	—	3	—	7	—	1	—	—	—	6 △1	—	19 △1 ×1	—	2	—	△ 1 × 1	21	

ハ六十四人強ナリ大正十四年度以降ノ入學志願者ヲ示セハ次ノ如シ

年 度	大 正 十 四 年	全 十 五 年	昭 和 二 年	全 三 年	全 四 年
本 科	2,462	2,445	2,641	2,466	2,105

入 學 者 父 兄 ノ 職 業 別 ヲ 示 セ ハ 次 表 ノ 如 シ

學 校 名	農 業	水産業	鑛 業	工 業	商 業	交通業	公 務 自由業	其 ノ 他 ノ 業 者	家 使 用 人	無 職 業	計
茨城縣立水戸中學校	36 ×2	1	2	14	44 ×2	9 ×1	72 ×10	2	—	20 ×1	20 ×1
茨城縣立太田中學校	81	2	—	8	24	—	34 ×2 △1	—	—	1 ×1	15 ×2 △1
茨城縣立土浦中學校	70 ×1	—	—	5	34 △1	—	40 ×5	—	—	7 ×2	15 ×5 △1
茨城縣立下妻中學校	96 ×2 △1	—	—	10 △1	16 ×1 △2	4	24 ×1 △1	—	—	2 ×2	15 ×2 △1
茨城縣立龍ヶ崎中學校	81 ×1	—	—	12	27	2	28	—	—	2 ×2	15 ×2
茨城縣立水海道中學校	76	—	—	4	25 ×1	4	27 ×1	1	—	2	15 ×1
茨城縣立鉾田中學校	57	1	—	6	19 ×1	4	18 ×1	—	—	—	10 ×1
茨城縣立日立中學校	23 ×1	3	16	23	20 ×1	1	14 ×4	1	—	1	10 ×1
茨城縣立 境 中學校	60 ×2	—	—	4	11	1	20 ×2	—	—	2	8 ×1
茨城縣立麻生中學校	60	—	—	7	13	—	18	—	—	—	8 ×1
私 立 茨 城 中 學 校	28 ○3 ×2	2	—	7 ×3	24 ×1 ○2 ×1	2 ○1	38 ×1 ○8 ×1	2 ○1	—	3 ○1 ×1	10 ×1 ○1 ×1
計	668 ×11 △1 ○3	9	18	100 ×3 △1	257 ×7 △3 ○2 ×1	27 ×1 ○1	333 ×27 △2 ○8 ×1	6 ○1	—	40 ×9 ○1	1,441 ×1 △1 ○1

× 印 ハ 第 二 學 年 以 上 へ 轉 入 學 者、* 印 ハ 第 一 學 年 へ 轉 入 學 者

△ 印 ハ 再 入 學 者 ○ 印 ハ 補 欠 入 學 者

中 學 校 生 徒 將 來 ノ 希 望 狀 況 = 就 テ ハ 時 代 ノ 趨 勢 = 伴 ヒ 上 級 學 校 = 希 望 ス ル モ ノ 大 多
數 ヲ 占 メ 卒 業 後 直 = 實 業 = 就 カ ム ト ス ル 者 減 少 ス ル ノ 傾 向 = ア リ、現 在 第 四、五 學 年 ノ
希 望 ヲ 示 セ ハ 別 表 ノ 如 ク = 付 一 般 中 學 生 ノ 將 來 ヲ 察 知 ス ヘ シ

私 立 中 學 校 ノ 設 備 = 就 テ ハ 銳 意 之 カ 整 備 充 實 ヲ 圖 リ ツ、ア リ 校 具、器 具 等 = 於 テ ハ 教
授 = 差 支 ヲ 生 ス ル コ ト ナ キ = 至 レ リ

生 徒 訓 育 ノ 狀 況 ハ 水 戸 學 ノ 精 神 ヲ 以 テ 經 ト シ 創 立 飯 村 丈 三 郎 ノ 報 恩 感 謝 ノ 精 神 ヲ 緯
ト シ テ 訓 育 = 努 メ 相 當 ノ 成 績 ヲ 舉 ケ ツ、ア リ 殊 = 配 屬 將 校 生 徒 監 ト シ テ 甚 大 ノ 注 意

ヲ拂ヒツ、アリ生徒學業ニ就キテハ創立日尙淺ク十分ノ進境ヲ見ル能ハサレトモ上級學校入學歩合ノ如キハ相當ノ成績ヲ舉ケツ、アリ

高等女學校

高等女學校ニ在テハ縣立六校市立一校私立二校實科高等女學校ハ町立四校組合立三校私立一校ニシテ公立學校ニ在リテハ其ノ設備稍充實シアリ特ニ縣立ニアリテハ年々設備ノ充實ニ努メ、作法、制烹、裁縫室等新築改築ヲナシ又ハ教授用具、校具、器具等ノ完備ヲ期シツ、アリ、市立、町村立ニ於テモ又普通教室、特別教室、其ノ他ノ新改築ヲナシ校具、器具ノ購入ヲナス等漸次完成ノ域ニ達シツ、アリ

有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別人員ハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員														無 資 格 教 員		總 計						
	高等師範 學校又ハ 女子高等 師範學校 卒業		臨時教員 養成所又 ハ實業教 員養成所 卒業		無試驗檢定ニ依ルモノ								試 驗 檢 定ニ依 ルモノ						計				
					官立大 學校卒 業		公私立 大學校 卒業		專門學 校卒業		實業專 門學校 卒業				其ノ他 經歷ニ 依ル者								
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
茨城縣立水戸 高 等 女 學 校	1 *1	4	1	1	1	—	3	—	—	1	—	—	2	7	1	—	9 *1	13	△1	—	9 △1 *1	13	
茨城縣立土浦 高 等 女 學 校	2	4	2	2	*1	—	1	—	2	5	—	—	—	—	4	3	11 *1	14	—	—	11 *1	14	
茨城縣立下館 高 等 女 學 校	*1	2	1	—	—	—	—	—	3	4	—	—	—	2	1 △1	2	5 △1 *1	10	×2 △1	—	5 ×2 △2 *1	10	
茨城縣立水海道 高 等 女 學 校	1	2	—	—	2	—	2	—	*1	3	—	—	—	—	1	1	6 *1	6	×1 △1 *△1	—	6 ×1 △1 *△1	6	
茨城縣立龍ヶ崎 高 等 女 學 校	—	2	2	1	2	—	1	—	—	—	—	—	—	3	1 *△1	1	6 *△1	7	×1	—	6 ×1 *△1	7	
茨城縣立太田 高 等 女 學 校	*1	4	1	—	1	—	1	—	—	—	—	2	—	—	3 *△1	—	6 *△1	6	—	1	6 *△1	7	
茨城縣水戸市立 高 等 女 學 校	1	2	1	△1	—	—	△1	—	1	4	—	—	—	—	2 *1	—	5 △1 *1	6	1	—	6 △1 *1	6 △1	
私立東海 高 等 女 學 校	—	—	—	—	—	—	1	—	—	4	1	—	—	—	1 *2	—	3 *2	4	—	×1	3 *2	4 ×1	
私立大成 高 等 女 學 校	—	—	—	—	1	—	—	—	1 *1	—	—	2	—	1	*1	—	2 *2	3	1	—	3 *2	3	
計	5 *3	20	8	4 △1	7 *1	—	9 △1	—	7 *2	2	1	1	42	13	14 △1 *4 *△2	7	53 △2 *10 *△2	69 △1 *△2	×4 △3 *△1	1 ×1	1 ×1	55 ×4 △5 *10 *△3	70 ×1 △1
茨城縣石岡實科 高 等 女 學 校	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	1	—	1	1	3 *△2	×3 *△2	1	1 ×3 *△2	4	
茨城縣鉾田實科 高 等 女 學 校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	1	2 *×1	△2 *×1	—	1 △2 *×1	2	

學 校 名	有 資 格 教 員																無 資 格 教 員		總 計	
	高等師範 學校又ハ 女子高等 師範學校 卒業		臨時教員 養成所又 ハ實業教 員養成所 卒業		無試験檢定ニ依ルモノ								試 驗 檢 定 = 依 ル モ ノ		計					
					官立大 學校卒 業		公立大 學校卒 業		專門學 校卒業		實業專 門學校 卒業						其ノ他 ニ依ル 者			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
茨城縣古河實科 高 等 女 學 校	—	2	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	3	2 ×1 *△3	3 ×1 *△3		
茨城縣下妻實科 高 等 女 學 校	—	—	*1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	*1	3	1 ×2 *1	1 ×2 *2		
茨城縣取手實科 高 等 女 學 校	—	—	1	1	—	—	—	—	1	2	—	—	—	—	2	—	4 ×1	3 ×1		
茨城縣岩井實科 高 等 女 學 校	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	1	—	*△2	*△1		
松原實科 高 等 女 學 校	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	1	—	2 ×1	1 ×1		
私立好文實科 高 等 女 學 校	—	—	—	—*△2	—	—	—*△1	1	—	1	—	1*△1	—	—*△1	—	*△5	2 ×3	3 ×3		
計	—	2	1 *1	1 *△2	—	2	—	3 *△1	6	—	4 *△1	4	5 *△1	2	13 *△5	19	3 ×11 △2 *1 *△1 *△7	16 ×11 △2 *2 *△1 *△12		
合 計	5 *3	22	9 *1	5 △1 *△2	8 *1	—	11 △1	—	10 *2 *△1	27	1	8 *△1	3 *1	17 △1 *△3	9	66 △2 *11 *△7	5 ×15 △5 *1 *△1 *△8	71 ×15 △7 *12 *△1 *△15		

*印ハ兼務者 ×印ハ本科正教員ノ免許狀ヲ有シ第二學年以下ノ教授ヲ擔任スル者 △印ハ講師

教員ノ需要供給勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關シテハ教員ノ異動少ク退職者アル毎ニ有資格教員ノ任用ヲ見俸給ニ關シテモ年々之カ向上ヲ計リツ、アリ年功加俸ハ百八圓乃至百六十八圓ヲ支給シツ、アリ

生徒訓育ニ關シテハ從來ノ方針ニ依リ學校ト家庭トノ連絡ヲ保チ生徒ノ道德意識涵養ヲ基礎トシ時代ニ適應スル性格ノ養成ニ努メ思想善導ニ留意シ一面溫良貞淑、志操堅實ニシテ良妻賢母主義ノ婦德ノ養成ニ特ニ力ヲ用ヒツ、アリ

生徒學業ニ就テハ常ニ教材ニ對スル確實ナル理解更ニ有效ナル陶冶ヲ育成セントシテ自學自習ノ風ヲ馴致シ熱心眞摯ナル研究心ノ養成ニ努メ自由研究發表會等ヲ開催スル結果學業ノ進歩又一般ニ良好ニ進ミツ、アリ

入學志願者ニ關シテハ公私立ヲ通シ本年募集人員千六百六十四名ニ對シ入學志願者二千六百九名ノ多キニ達シ入學率六十四名弱ナリ尙本年度入學者父兄ノ職業別ヲ示セハ次表ノ如シ

學 校 名	農 業	水産業	鑛 業	工 業	商 業	交通業	公 務 自由業	其ノ他業 有者	家 事 使用人	無職業	計
茨城縣立水戸高等女 學 校	31 ×2	1	5	18	71 ×3	1	64 ×12	3	—	18 ×1	212 ×18
茨城縣立土浦高等女 學 校	98 *1 ×2	—	×1	16 ×1	60 *1	—	46 *2 ×3	—	—	4	224 *4 ×7
茨城縣立下館高等女 學 校	65 ×2	—	—	8 ×1	27	—	45 ×3	—	—	7	152 ×6
茨城縣立水海道高等女學校	58	—	—	4	23	—	16 ×2	1	—	2	104 ×2
茨城縣立龍ヶ崎高等女學校	50 ×1	—	—	7	26 ×1	—	18 *1 ×4	—	—	×1	101 *1 ×7
茨城縣立太田高等女 學 校	44	—	—	11 ×1	20	—	22	2 *1	—	5	104 *1 ×1
茨城縣水戸市立高等女學校	25 *1 ×1	1	—	9 ×1	37 ×2	—	41 ×2	—	—	11 ×3	124 *1 ×9
私立東 海 高 等 女 學 校	11 ○1	1	4	18 *1 ○1 ×2	22 ×1	—	8 *1 ○2	—	—	—	64 *2 ○4 ×3
私立大 成 高 等 女 學 校	17	—	1	2	10	—	7	—	—	3	40
計	399 *2 ×8 ○1	3	10 ×1	93 *1 ×6 ○1	296 *1 ×7	1	267 *4 ×26 ○2	6 *1	—	50 ×5	1,125 *9 ×53 ○4
茨城縣石岡實科高等女學校	19 ×1	—	—	6	12 ×1	—	8 *1	—	2	4	51 *1 ×2
茨城縣鉾田實科高等女學校	24 ○2	—	—	3	8 ○4	—	4	—	—	—	39 ○6
茨城縣古河實科高等女學校	25 ×1	—	—	13	9	3	6	4	—	—	60 ×1
茨城縣下妻實科高等女學校	46 ×1	—	—	—	9	—	9	—	—	—	64 ×1
茨城縣取手實科高等女學校	38 ×1	—	—	6	10 △1	—	2	—	—	1	57 ×1 △1
茨城縣岩井實科高等女學校	12 ○12	—	—	—	8 ○3	—	1 ○2	—	—	—	21 ○17
松原實 科 高 等 女 學 校	15 ×1	1	—	11	10 ×1	—	9 ×1	—	—	—	46 ×3
私立東海高等女學校(實科)	6	—	—	4	6 ○1	—	2	—	—	—	18 ○1
私立 好文 實科高等女學校	20 ●46	●4	—	2 *1 ●8	8 *1 ●26	1 ●2	16 *1 ●16	1 ●4	—	2 *1 ●5	50 *4 ●111
計	205 ●46 ×5 ○14	1 ●4	—	45 ●8 *1	80 ●26 *1 ×2 △1 ○8	4 ●2	57 ●16 *2 ×1 ○2	5 ●4	2	7 ●5 *1	406 ●111 *5 ×8 △1 ○24
合 計	604 *2 ×13 ○15 ●46	4 ●4	10 ×1	138 *2 ×6 ○1 ●8	376 *2 ×9 △1 ○8 ●26	5 ●2	324 *6 ×27 ○4 ●16	11 *1 ●4	2	57 ×5 *1 ●5	1,531 *14 ×61 △1 ○28 ●111

×印ハ第一學年轉入學者 *印ハ第二學年以上ニ係ル轉入學者 △印ハ全上ニ係ル再入學者 ○印ハ編入學ヲ許可シタル者 ●印ハ第二學年以上ニ入學者

私立學校ハ前年一校ナリシカ本年大成高等女學校、好文實科高等女學校ノ二校新設セラレ其ノ設備ニ關シテハ各校共校具、器具ノ充實ニ努メツ、アリ教授上遺憾ナキヲ期セリ

教員ノ需要、供給、轉免、俸給其ノ他ニ關シテハ常ニ待遇ノ途ヲ講シツ、アルヲ以テ轉任者少ク有資格教員ヲ任命シツ、アリ

生徒訓育ニ就テハ自治的訓練ヲ重シ精神修養ヲ以テ第一義トシ學科實科ヲ通シテ實際化ヲ尊重シ社會及家庭ト協調スルヲ以テ眼目トシ校風ノ改善指導ニ努メツ、アリ生徒學業ニ關シテハ常ニ學校ト家庭トノ聯絡ヲ保チ自學自修ノ精神ノ養成ニ努メ教員モ懇切ニ指導ヲナシ成績品批評會ヲ開ク等全般ニ研究勉學ノ氣風養成ニ努メツ、アルヲ以テ成績又良好ナルヲ認メラル

實 業 學 校

實業學校ハ總數十八校ニシテ工業學校ハ縣立一校、農學校ハ縣立九校、組合立一校、商業學校ハ縣立二校、町立一校、水産商業學校ハ縣立一校、職業學校ハ組合立一校、町立二校アリ之ヲ前年度ニ對比スレハ商業學校ノ町立一校ヲ減シ水産商業學校ノ縣立一校ヲ増設セラレタリ各校共設備ノ改善充實ニ努メツ、アルヲ以テ稍完備セルモ尙設備ノ急ヲ要スルモノ少カラサル狀況ニアリ有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別人員ハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員														無資格教員				總 計								
	學ヲス者		位有ル		大學卒業シタル者		文部大臣ノ指定シタル者		文部大臣ノ認可シタル者		高等學校教員免許狀有スル者		師範學校教員免許狀有スル者		實業學校教員免許狀有スル者		計					公立實業學校ニ依ル者		私立實業學校ニ依ル者		其 他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
茨城縣立工業 學 校	—	—	1	—	9	△1	—	—	—	—	—	—	5	△1	—	—	—	15	△2	—	—	—	3	—	18	△2	18
					*1													*1							*1		
全 水戸農學校	—	—	1	—	8	—	1	—	—	—	—	—	4	*1	—	3	—	17	*2	—	—	—	4	—	21	*2	21
全 石岡農學校	—	—	2	—	4	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	—	9	*1	—	—	—	2	—	11	*1	11
			*1															*1							*1		
全 結城農學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	*1	—	3	—	6	*1	—	—	—	1	—	7	*1	7
																		*1							*1		
全 笠間農學校	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	△1	*1	—	2	—	5	△1	—	1	—	—	—	6	△1	6
																		*1							*1		
全 大子農學校	—	—	—	—	2	△1	—	—	—	—	—	—	2	*1	—	1	—	5	△1	—	—	—	—	—	5	△1	5
																		*1							*1		
全 鹿島農學校	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	1	△1	—	1	—	5	△1	—	—	—	—	—	5	△1	5
							*2											*2							*2		
全 江戸崎農學校	—	—	1	—	7	—	—	—	—	—	—	—	2	*1	—	1	—	11	*1	—	—	—	—	—	11	*1	11
																		*1							*1		

校 名	有 資 格 教 員										無資格教員				總 計				
	學ヲス者	位有ル	大又ハ種トオル者		文部大臣ノシテ定ル者	大指ノシテ可ル者	高等學校教員ノ資格有ル者	中等學校教員ノ資格有ル者	實業學校教員ノ資格有ル者	計	公立學校教員ニ充テタル者		其 他						
			男	女							男	女		男	女	男	女	男	女
眞壁農學校	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	6	—	8	—	—	—	1	9	9
						*1				△2	△1		*2				△2	*1	△2
取手農學校	—	—	*1	—	1	—	—	—	—	9	1	—	11	—	—	—	—	11	11
											*1		*1				*1	*1	*1
三縣小瀬農 學 校	—	—	—	—	—	1	—	—	—	2	2	—	5	—	1	1	—	6	7
學 校 合 計	—	—	4	—	25	6	—	—	—	26	21	—	82	—	2	1	8	92	93
			*2	—	△1	*3	—	—	—	△2	△2	—	△5	—				△5	△5
										*5	*1		*11				*11	*11	*11
三縣立湊水産商業	—	—	—	—	4	—	—	—	—	7	—	—	11	—	—	—	1	12	12
										*1			*1			△2	△2	*1	△2
三縣立水戸商業學	—	—	2	—	13	—	—	—	—	6	—	—	21	—	—	—	3	24	24
					*6	—	—	—	—	△1	—	—	△1	—	—		△1	△1	△1
					*△2	—	—	—	—	*2	—	—	*8	—	—	*3	*11	*11	*11
										*△1	—	—	*△3	—	—		*△3	*△3	*△3
下館商業學校	—	—	1	—	4	—	—	—	—	10	—	—	15	—	—	*△1	15	*1	15
					*1	—	—	—	—	—	—	—	*1	—	—		*△1	*△1	*△1
三縣古河商業學校	—	—	—	—	1	—	—	—	—	5	—	—	6	—	1	—	7	*1	7
										*1	—	—	*1				*1	*1	*1
學 校 合 計	—	—	3	—	18	—	—	—	—	21	—	—	42	—	1	—	46	△1	46
					*7	—	—	—	—	△1	—	—	△1	—	3	—	△1	*13	△1
					*△2	—	—	—	—	*3	—	—	*10	—	*△1		*13	*13	*13
										*△1	—	—	*△3	—			*△4	*△4	*△4
三縣郡大子女子技藝	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	2	1	—	1	*1	3
										—	—	—	—	*1	*△1	—	*△1	*△1	*△1
三縣郡潮來町立女子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	2	—	—	△1	△1	3
技藝學校										—	—	—	—	—	—		—	—	—
三縣郡結城女 學 校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	2	—	—	△2	△2	2
										—	—	—	—	—	—		—	—	—
學 校 合 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	—	—	—	6	1	—	△3	△3	8
										—	—	—	—	*1	*△1	1	*1	*1	△3
																	*△1	*△1	*△1

*印ハ兼務者 △印ハ講師

工業學校ハ縣立一校ニシテ其ノ設備ニ於テハ着々改善ヲ加ヘ器具機械等ノ充實ヲ圖リツ、アリ本校舎ハ生徒定員増加ニ伴ヘ増設擴張シ又武道場兼雨天体操場ヲ増設シ運動場ヲ擴張スル等稍完備シツ、アリ

生徒訓育ニ就キテハ從來ノ方針ニ依リ工業家ニ適切ナル品性ノ養成ニ努メツ、アリ生徒學業ニ關シテハ運動体育ノ獎勵ニ伴フテ漸次進歩向上ノ氣運ニアリ教練ニ就テニ其ノ成績頗ル良好ナリ本年度ニ於ケル生徒ノ考査成績ヲ示セハ次ノ如シ

考 査 生 徒 數	及 第 者 總 數	及 第 生 徒 百 分 率	學 科 總 平 均 点
387	363	93.80	72.95

今本年度ノ卒業生ハ上級學校入學者ヲ除キ大體就職ヲナシタリ

修學旅行及實習ニ關シテハ工業界ノ趨勢ニ鑑ミ智識ノ開發ヲ圖ル爲專ラ實務ノ練習ニ力ヲ致シ上級學年ニ對シテハ夏期休暇、冬期休暇ヲ利用シ鑛山、製作所其ノ他各種會社ニ於テ實地技能ノ練習ヲナシ多大ノ效果ヲ收メタリ、又關東、關西、北陸方面ニ旅行シ會社工場等ノ實地作業及設備ノ狀況ヲ視察シ工業上ノ實際的智識ノ收得ニ努メタリ

本年度募集人員ハ應用化學科機械科共五十名ナリシカ志願者二百八十五名ニ達シ其ノ中ヨリ選拔考査ノ結果應用化學科四十名機械科四十四名ノ入學ヲ許可シタリ

學校ト實業界トノ關係ハ地方當業者ト連絡ヲ保チテ鑑定並質疑ノ外各種ノ製造注文等ニモ應シツ、アルヲ以テ斯業助長ニ多大ノ效果ヲ與ヘタルモノト認ム

農學校ハ縣立九校組合立一校ニシテ其ノ設備ハ大体前年記述セシ如ク漸次改善セラレツ、アルヲ以テ稍完備セルモ最近縣移管ノ學校及乙ヨリ甲ニ昇格セル學校ニ於テハ設備ノ急ヲ要スルモノ少カラサル狀況ニアリ生徒訓育ニ就キテハ其ノ施設ニ於テ各校共多少ノ差異ナキニアラサレトモ要ハ地方ニ適應スル實際農業者タル人格の陶冶ニ努メ國民精神ノ涵養、自治的精神ノ啓發、農村問題ノ中堅人物タル覺悟、農村趣味、勤勞趣味、農業上ノ改善發達ニ必要ナル智識技能ノ修得ニ努メ常ニ生徒ノ個性ト家庭トノ狀況トヲ調査シ適切ナル智識技能ヲ授ケツ、アリ修學旅行ニ關シテハ農業經濟ヲ參酌シ成ルヘク實地ヲ知ラシメ觀察力理解力ヲ養成シ見聞ヲ廣カラシメ智育、德育、体育ノ發達ト相俟テ一層農業ノ趣味涵養ニ努メツ、アルヲ以テ其ノ效果良好ニ向ヒツ、アリ

生徒ノ學業ニ關シテハ學科實習共ニ生徒ノ勤惰並ニ成績ノ良否ニ付留意シ常ニ周到ナル教授ト督勵トニ努メ尙成績不良ナル者ニ對シテハ特ニ父兄ニ生徒ノ成績ヲ通知シ家庭ト相俟テ成績ノ増進ヲ計リツ、アリ

入學志願者ハ縣及組合ヲ通シ千二百七十九名ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ千九名ニシテ之カ入學率ハ七十九名弱ナリ、卒業者ノ就職狀況ハ大部分實業従事者ニシテ學校職員又ハ官公吏等ニ就職シタル者モアリ學校ト實業界トノ關係ニ就テハ努メテ教育ニ際シ社會化ニ勉メ可及的ニ學校ヲ開放シテ地方農業者ノ研究ニ資スヘク、農事相談、各種農產物品評會ノ開催、農場視察、種苗、種豚ノ分讓、講習講話會ニ講師ヲ派遣スル等農業智識ノ普及改善ヲ圖リツ、アリ

商業學校ハ前年町立二校ナリシカ湊商業學校ノ縣移管ト共ニ水產商業學校ニ變更シ古河商業學校ノ乙ヨリ甲ニ昇格アリタル結果甲ノ縣立二校町立一校トナル、其ノ設備ノ狀況ニアリテハ年ヲ追テ漸次改善セラレツ、アルモ未タ完備ノ域ニ達セサルヲ感ス生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ヲ繼承シ商業道德ノ養成ニ重キヲ置キ家庭及個性調査ヲナシ常ニ薰陶ニ努メツ、アリ生徒學業ニ就テモ常ニ教授法ノ改善ニ注意シ豫習並ニ技術的學科ニ就テハ特ニ意ヲ注キツ、アリ又ハ時々學級主任ヲシテ家庭訪問ヲナサシメ或ハ必要ニ應シテ父兄ノ來校ヲ求メ其ノ他生徒手牒ノ利用等ヲナシ學業ノ發達ヲ計リツ、アリ入學志願者ハ本年六百七十八名ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ四百八十名ナリ之カ入學率ヲ示セハ七十一名弱ナリ、卒業者ノ就職狀況ニ就キテハ實

業界ト聯絡ヲ保チタル結果著シキ影響ヲ認メス孰レモ希望方面ニ就職スルコトヲ得タリ

修學旅行ニ關シテハ關東、關西ノ各方面ニ旅行セシメ商業上必要ナル智識ヲ收得シ地理歴史人情風俗ニ關スル研究ノ智識ヲ與ヘル等裨益スル所尠カラス生徒實習ニ於テハ學科教授ト實習トノ連絡統一ヲ圖リ生徒ヲナシテ自發的奮勵ニ依リ研究的態度ヲ以テ從事スル習慣ノ養成ニ努メツ、アリ

實業界トノ關係ニ就テハ常ニ銀行會社方面ト聯絡ヲ保チ特ニ卒業生ヲシテ聯絡ヲ蜜ニシ文書講演ノ方法ニヨリ在校生ヲ指導鞭撻シ又ハ時々實業家ヲ招聘シテ講話ヲ求ムル等充分ノ聯絡ヲ計リツ、アリ

水産商業學校ハ縣立一校ニシテ從來ノ町立湊商業學校ヲ縣ニ移管セルモノニシテ校舍ノ建築日尙淺キ爲メ稍完備シアリ隨テ器具器械等モ新シキモノ多シト雖モ尙補充ヲ要スルモノアリ

教員ノ需用供給、勤續、轉免俸給、其ノ他待遇ニ關シ略記スレハ教員ノ多クハ轉任者尠ク待遇ニ關シテモ年々之カ向上ヲ計リツ、アリ

生徒訓育ノ狀況ハ勅語、詔書ノ聖旨ヲ奉體シ實踐躬行ニ努メシメ自主自律ノ精神公正博愛ノ性格ヲ涵養スルト共ニ心言行ノ一致ヲ期セントスルモノナリ生徒學業ニ關シテハ特ニ留意セル所ニシテ記念文庫、講演會、物化實驗室、實踐室ノ設置ヲナシ研究セシメ特ニ水産科ノ爲ニ端艇和船等ヲ毎週各一回宛操縱練習ヲナサシム等成績ノ向上ヲ計リツ、アリ生徒教練狀況ハ良ク生徒ニ於テ其ノ趣旨ヲ理解シアリテ精勵シ成績良好ニシテ一般訓練上ニモ尠カラス好影響ヲ與ヘツ、アリ

入學志願者ニ關スル狀況ハ募集人員五十名ニシテ入學志願五十一名ナルモ考査ノ結果四十一名ヲ收容セリ

生徒修學旅行ニ關シテハ本校トシテ必要ナル智識ノ收得ヲ主眼トシテ奥羽地方、東京、横濱、濱須賀、鎌倉、箱根等又ハ關西地方ニ水産、商業兩方面ノ見學視察ヲ行ヒ多大ノ效果ヲ收メタルモノト認ム

學校ト實業界トノ關係ハ極メテ緊密ニシテ記念講座ニハ主トシテ實業界ノ有力者ヲ聘シ商業水産ニ關スル研究指導ヲ受ケ體育方面ニ於テモ斯道權威者ノ熱心ナル後援ヲ受ケ居リ職員モ亦實業界ノ智識階級ノ會合ニ出席シテ聯絡ヲ計リツ、アリ

職業學校ニ屬スル女子技藝學校ハ三校ニシテ組合立一校町立二校アリ之カ設備ニ就テハ銳意、敷地、校舍ノ増改築並ニ圖書器械器具等ノ改善充實ニ努メツ、アルモ何レモ未タ完備ノ域ニ達セサルノ狀況ニアリ

生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ニ則リ國民道德ノ振興婦德ノ養成技能ノ發達ニ留意シ質素儉約地方ノ狀況ニ鑑ミ教授ト相俟テ實際的女子ノ教養ニ意ヲ用ヒツ、アリ生徒學業ニ於テハ各學科教授共教具稍不充分ノ感アレトモ改善ヲ加ヘ常ニ熱心ニ教授シ特ニ裁縫手藝ノ如キハ懇切ニ指導教授ヲナシ殊ニ新進ノ銳氣ヲ以テ之ニ當ル結果其ノ進歩ノ跡ヲ認ム

實業補習學校

實業補習學校ハ總數四百九十校ニシテ、之ヲ種別スレハ市立四校、町村立四百八十五校、私立一校ナリ尙之カ實業科目ニ區別スレハ工業一校農業四百五十二校水産六校商業十一校農業商業十三校農業水産五校水産商業二校ナリ而シテ大部分ハ小學校ニ附設セラレ季節制ニ屬スルモノニシテ隨テ教員モ小學校教員ヨリ兼務セルモノ多シ專任教員ハ有資格百八十二人無資格三十二人ニシテ公立ニ於ケル教員ノ資格別ヲ示セハ次表ノ如シ

	男							女						
	校長	教諭	助教諭	教心	諭得	助教諭	諭得	教諭	助教諭	教心	諭得	助教諭	諭得	講師
大學卒業又ハ學士ト稱スルコトヲ得ルモノ	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
文部大臣ノ指定シタルモノ	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
文部大臣ノ認可シタルモノ	—	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
師範學校中學校高等女學校教員免許狀ヲ有スル者	1	2	1	—	—	—	—	13	2	—	—	—	—	—
實業學校教員免許狀ヲ有スル者	—	10	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
實業補習學校教員資格ノ指定學校卒業	—	9	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小學校本科正教員ノ免許狀ヲ有スル者	—	2	9	—	—	—	—	2	3	—	—	—	—	—
專科正教員ノ免許狀ヲ有スル者	—	3	12	—	—	—	—	3	48	—	—	—	—	—
尋常小學校本科正教員ノ免許狀ヲ有スル者	—	2	5	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
其ノ他	—	—	2	6	—	—	4	—	1	4	—	—	—	—
總計	2	31	60	6	—	—	4	19	55	4	—	—	—	—

教員ノ需要供給勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ就キ記述スレハ兼任教員ニ於テ小學校職員ノ異動ニ依リ轉免ヲ止ムナクスルモ專任者ニ於テハ比較的永ク勤續シ俸給ニ於テモ頗ル向上シ年功加俸ハ七十二圓乃至百六十八圓ヲ支給シアリ

生徒訓育ニ關シテハ青年團、處女會、青年訓練所ト聯絡シ常ニ其ノ地方青年トシテノ訓育ニ努メ學業ニ於テハ其ノ地ニ適切ナル實業科目ヲ課シ其ノ實績ヲ舉ケムコトニ努メツ、アリ入學志願者ニ關シテハ補習學校獎勵委員ヲ委囑シ入學出席ノ督勵ヲナシタリ

實業界トノ關係ハ常ニ實習地ニ於ケル作物ノ栽培ヲ地方ニ範ヲ示シ成績優秀ナルヲ認メラル、モノアリ

實業補習學校教員養成所

實業補習學校教員養成所ハ大正六年四月縣立水戸農學校ニ加設シタル農業教員養成所ヲ大正十年三月限り廢止セラレ全年四月實業補習學校教員養成所令ニ依リ修業年限一ケ年ノ茨城縣立農業補習學校教員養成所ヲ設置シタルモノナリ而シテ其ノ設備ノ狀況ニ就テハ年々之カ充實ヲ計リタル結果稍完備スト雖モ尙遺憾トスル点尠カラズ教員ハ專任者二名ニシテ其ノ他ハ縣立水戸農學校及縣社會教育主事、補習學校主事

ヨリノ兼務者ナリ其ノ有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別ハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員										無資格教員				總 計			
	學位 ヲ有 スル 者	大學 ハ 上 等 科 ト 得 ル 者	文部大臣 ノ 指 定 シ タル 者	文部大臣 ノ 認 可 シ タル 者	高等學校 教員 免許 狀 ヲ 有 ス ル 者	高等學校 教員 免許 狀 ヲ 有 ス ル 者	實業學校 教員 免許 狀 ヲ 有 ス ル 者	實業學校 教員 免許 狀 ヲ 有 ス ル 者	計	計	公私立實業 學校教員 免許狀 ヲ有スル 者	其 他						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
茨城縣立農業補習 學校教員養成所	—	—	*△1	—	*2	—	*1	—	—	1	—	1	—	2	—	—	—	2
			*△2	—	*△2	—	*1	—	*1	—	*2	—	*6	—	*△2	—	*6	*6
												*△3	—			*△5	*△5	

生徒訓育ニ就テハ本所所定ノ訓育要綱ニ從ヒ既往ノ經歷及個性ニ留意シ充分長養短
補ノ實ヲ學ケ教員トシテノ必要ナル素質ノ陶冶ト能力識見ノ養成ニ努メ職業觀ヲ念
明確ニシ業務ニ通シテ生クル信念ヲ與ヘシムルニ努メツ、アルヲ以テ學業ノ成績モ
亦見ルヘキモノアリ生徒實習及修學旅行ニ關シテハ諸般ノ作業ヲ實地ニ見學セシメ
優良補習學校ノ視察及北海道方面ニ旅行シ試驗場學校農場等ノ施設並ニ經營ノ狀況
ヲ視察セシメ實際上ノ智識ノ啓發ニ努メタリ

入學志願者ハ本年度四十八名ニシテ内二十九名ヲ選拔入學セシメタリ

尙入學者父兄ノ職業別ハ次表ノ如シ

學 校 名	農 業	水産業	鑛 業	工 業	商 業	交通業	公 務 自由業	其ノ他ノ 有業者	家 事 使用人	無職業	計
茨城縣立農業補習學校教員 養成所	25	—	—	—	1	—	3	—	—	—	29

盲 學 校 及 聾 啞 學 校

盲學校ハ縣立一校私立一校ニシテ聾啞學校ハ縣立一校ナリ其ノ設備ノ狀況ニ就テハ
縣立ニアルテハ大正十五年八月竣工ノ校舍ニシテ經費ノ關係上充分ナル設備ヲナス
コトヲ得ス増築ノ必要アリタルモ其ノ後寄宿舎校舍ノ増改築ヲナシ稍完備スト雖モ
年々學級ノ増加ト斯種教育ニ於ケル主要教科タル特別教室ノ必要ヲ生シ直ニ校舍狹
隘ヲ告ケ且ツ之ニ要スル教具並ニ設備ニ尙貧弱ナル点アルハ遺憾トスヲ所ナリ

私立ニ係ル土浦盲學校ハ大正十四年四月新校舍ニ移轉後諸般ノ設備充實ニ努メタル
結果漸次完備シツ、アリ

教員ノ需要供給其ノ他ヲ略記スルニ特殊教育ニ從事スルモノナレハ比較的養成機關
不充分ナル爲メ有資格教員ノ採用ニ困難ヲ感シツ、アルモ異動比較的少シ待遇方面
ニ於テハ斯種教育ハ教員ノ熟練ト犠牲的精神トヲ最要ノ條件トスルヲ以テ極力異動
ニ努メツ、アルヲ以テ待遇方面ニ付テモ常ニ向上ヲ計リツ、アリ生徒訓育ニ就テハ
個性ノ調査ヲ周密ニシ特ニ盲、啞者トシテ有スル通有ノ欠陥ノ矯正ニ努メ將來有用ナ
ル國民タラシムルコトニ努力シツ、アリ生徒學業ニ關シテ教授法ノ改善ニ留意シ教
材ノ研究ヲナシ、實物、模型或ハ實地ノ動作ニ訴ヘテ觸接摸索セシメ努力シツ、アルヲ
以テ一般ニ良好ナリ生徒卒業後ノ狀況ヲ見ルニ聾啞者ハ裁縫業洋服業傘職工其ノ他
農事ニ從事スルモノ多ク盲ハ鉞按業ヲ營ミツ、アリ

生徒失官原因ヲ區別スレハ左ノ如シ

失官原因	茨城縣盲學校						茨城縣土浦盲學校					
	初等科			中等科			初等科			中等科		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
角膜實質炎	—	—	—	4	—	4	3	1	4	4	1	
角膜潰瘍	3	—	3	4	2	6	2	2	4	—	1	
トラホーム	2	—	2	2	1	3	1	—	1	—	—	
癩疹	1	2	3	1	—	1	—	—	—	—	—	
外傷	1	—	1	2	—	2	—	—	—	—	—	
風眼	—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	—	
膿漏眼	—	1	1	2	—	2	—	—	—	—	—	
強度近視	—	—	—	2	—	2	—	—	—	—	—	
遺傳梅毒	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	
眼球内結核	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
白内症	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
腦膜炎	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	
色素性網膜炎	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	
視神經萎縮	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	
先天性	2	—	2	1	—	1	—	—	—	—	—	
視神經消耗症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	
計	10	4	14	22	5	27	6	3	9	5	2	

茨城縣聾啞盲校

失官原因	初等科			中等科		
	男	女	計	男	女	計
腦膜炎	4	2	6	1	—	
腦打撲	2	—	2	—	—	
中耳炎	4	—	4	1	1	
先天性	18	11	29	3	2	
未詳	3	—	3	—	—	
計	31	13	44	5	3	

各種學校

各種學校ハ總數四十六校ニシテ何レモ私立ナリ、内中學校ニ類スル者三校高等女學校ニ類スル者三校其ノ他四十校ナリ多クハ個人經營ニ係ルヲ以テ維時困難ナル爲其ノ設備充分ナラス然レトモ相當教員ヲ有シ教授法モ漸次改善セラレツ、アリ入學志願モ逐年増加シ地方青年子女教導ニ裨益スル所多シ

學校園及植栽

學校園ノ設置ハ教育上須要ナルヲ以テ各學校共學園ヲ設置シ之カ整備ヲ期シツ、ア

リ學林ハ概ネ山間部ノ學校ニ於テ設置シアリ其ノ成績良好ナリ、而シテ學園學林ノ植栽手入等ハ受持教員指導ノ下ニ生徒兒童ヲシテ直接之ニ當ラシメツ、アルヲ以テ教授上將又德育上ニ及ホス效果多大ナルヲ認ム

教員檢定及免許狀授與

小學校教員檢定試験ニアリテハ毎年二回無試験ハ隨時之ヲ施行ス而シテ本年度ニ於ケル檢定總員數ハ男千三百九十五人女三百八十四人ニシテ内合格者男三百六十四人女百十六人ナリ其ノ他師範學校卒業ニ依ルモノ男百六十三人女百八人ニシテ免許狀授與總人員男五百二十七人女二百二十四人ナリ

教科用圖書

本年度ニ於ケル教科用圖書ノ需要供給ノ狀況ハ概ネ成績良好ナリ

社會教育

(イ)圖書館ハ公立五十二館、私立三十九館、計九十一館ニシテ前年ニ比シ五館ヲ増加シタリ、而シテ其ノ設備ハ縣立ニアリテハ諸般ノ設備ニ改善ヲ加ヘラレ年々發展シツ、アリト雖近年閱覽人員ノ激增ニ伴ヒ狹隘ヲ告ケ適切ナル設備ヲ施ス能ハス其ノ他ノ圖書館ニアリテモ概シテ完全ナリト云フヲ得ス圖書冊數ハ十四萬八千二百八十八冊閱覽人員二十七萬三千六百九十五人ナリ、巡回文庫ノ施設ヲナスモノ四館ニシテ其ノ他ハ簡易圖書館多ク青年團ノ經營ニ係ルモノ又ハ學校ニ附設セルモノアリ、地方改善通俗教育上裨益スル所尠カラス

(ロ)教育參考館ハ大正四年十一月大正天皇ノ御即位大禮ヲ記念シ縣下社會教育及學校教育ニ資スル目的ヲ以テ設置シタルモノニシテ陳列品ハ總數二千九百八十六點ニシテ其ノ主ナルモノハ剝製動物、植物標本、礦物標本、電氣機械、工學機械其ノ他機械模型等何レモ理學、工學、歷史ニ關スル參考品其ノ他等ナリ閱覽人員ハ七萬七千七百七十一人一日平均二百二十九人七分團體組數百七組ニシテ前年ニ比シ著シク増加ヲ示セリ而シテ學校生徒兒童最モ多ク各種ノ團體及一般人之ニ次ク、猶近來成人及婦人ノ來觀者増加ノ傾向アリ社會教育上喜フヘキ現象ヲ示シツ、アリ

教育品展覽會ニアリテハ父兄懇話會學藝會等教育的會合ノ際生徒兒童ノ成績品展覽會ヲ併セ開催スルモノ多ク公衆一般ノ從覽ニ供シ家庭トノ連絡及向學心ノ振興ヲ計リ裨益スル所尠カラス

(ハ)青年團及少年團

青年團ニ就テハ時代ノ進展ト青年ノ自覺トニ依リ各市町村共之ヲ設置セサルモノナク、男青年團ノ數ハ三百八十一團體ニシテ各町村聯合シテ郡青年團ヲ組織シ更ニ縣青年團ニ統一セラレ會員數五萬三千百十八人ヲ算スルニ至レリ、之カ教養指導ニ就テハ社會教育主事專ラ之ニ當リ內務文部兩大臣ノ訓令ニ基キ時運ニ稽ヘ又地方ノ實際ニ徴シ夫々適切ナル施設ヲナシ殊ニ體育ノ獎勵ト思想ノ善導トニ就テハ力ヲ致シ青年大會體育指導者講習會、青年幹部講習會ヲ開催シ身體鍛練ト精神ノ養修ニ資スル所大ナリ郡市及町村青年團ニ於テモ前述セル如ク各種修養ノ施設ヲナシ其ノ主タルモノ

ハ辯論會、講演會、講話會、中堅青年講習會、圖書館ノ開設、會報ノ發行、道路改修、勤儉貯蓄ノ實行、補習教育、青年訓練所ノ就學獎勵等心身ノ修養鍛練社會奉仕ノ爲殆ント其ノ擧グ一ニナシツ、アリ

女子青年團ニ於テハ逐年發達シ其ノ數三百八十一團體ニシテ前年ニ比シ十團體増加シ團員三萬五千四百六十八人ヲ有ス縣聯合女子青年團ハ創立日尙淺シト雖モ着々發達シ斯道ノ向上ヲ期スルニ努力シツ、アリ町村女子青年團ノ事業トシテハ男子青年團ニ比シ稍遺憾ノ点アルト雖モ勤儉貯蓄、會報ノ發行、敬老會、風俗習慣ノ改善、裁縫、作法、割烹等ノ講習會、講演會等ヲ開催シ其ノ成績良好ナル效果ヲ收メツ、アリ

男女少年團ハ團體數百二十六團體アルモ何レモ創立日尙淺ク未タ充分ナラサルモノアリト雖モ銳意其ノ本義ノ普及徹底ニ努メタル結果良好ノ域ニ達シツ、アリ團員ハ男一萬二千六百四十九人女九千五百五十人ヲ有ス之カ多クハ小學校ヲ中心トシテ設立シタルモノニシテ團員ノ年齡ハ七歳ヨリ十五歳迄トシ昭和四年度ノ經費ヲ示セハ次ノ如シ

本年度收入總額					本年度支出總額
市町村費補助	團員釀出金	寄付金	其他	計	
円 635	円 274	円 650	円 602	円 2,161	1,935

而シテ其ノ主タル施設ヲ舉クレハ講演會、書籍ノ講讀、自習會、時ノ宣傳、交通、衛生、火防ノ宣傳、公德事業、軍事的訓練等ナリ

(二) 成人教育

成人教育ニ就テハ文部省主催ノ成人教育施設ヲ水戸高等學校後援トシテ水戸市ニ開催セリ講座ハ文藝思想ニシテ講師トシテ水戸高等學校教授之ニ當リ、一期二十回ニ亘レリ講習員約八十名各種職業者ヲ網羅シ相當ノ成績ヲ收メタルモノト認メラル

教 育 會

縣教育會ハ社團法人ニシテ縣下十五ノ各郡市教育會ヨリ成リ其ノ事業ノ主タルモノハ教員ノ養成講習會、教育講演會、鮮滿及臺灣方面ノ視察員派遣、夜間中學ノ經營、教育上ニ於ケル諸問題又ハ教科書ノ調査編纂、機關雜誌、兒童讀物、通俗講話會又ハ名士ヲ聘シ夏期大學ヲ開催スル等一般教員ノ研究修養ニ資スルト共ニ小學校及補習教育上裨益スル所頗ル多シ

本年度ニ於テ教員保姆講習會ノ開催ハ次ノ如シ

名	稱	主 催 者	講習員ノ資格	講習科目	講 師 數	講習日數	講習人員	講習證人
甲	種 講 習 會	茨城縣教育會	中等學校卒業以上	尋常科正教員ノ科目全部	20	90	50	4
乙	種 講 習 會	全	尋正以上	小本正國語	3	8	82	7
全		全	全	全 教 育	3	6	375	37
全		全	全	全 音 樂	3	6	278	27

名	稱	主 催 者	講習員ノ資格	講 習 科 目	講 師 數	講 習 日 數	講 習 人 員	講 授 證 書 員
乙種講習會		茨城縣教育會	准教員以上	尋 正 國 語	3	8	96	93
全	全	全	全	算 術	2	6	123	120
全(冬季分)	全		尋正 以上	全 音 樂	2	6	91	82
全	全	全	全	教 育	3	6	157	153
裁縫專科正教員養成講習會	全		高二卒以上	裁 縫	4	8	106	100
夏季 大學 講習會	全		學校 教員	教 育 歷 史	3	9	386	380
高等小學校算術講習會	全		全	算 術	1	3	356	350
高等小學校農村讀本講習會	全		全	農 村 讀 本	1	3	271	270

又 郡 市 教 育 會 ハ 郡 市 内 教 育 關 係 者 有 志 ヲ 以 テ 組 織 シ 經 費 ハ 基 本 金 ノ 利 子、市 町 村 費 ノ 補 助、會 員 ノ 負 擔 寄 附 金 等 ヲ 以 テ 維 持 シ ツ ツ ア リ 其 ノ 事 業 ハ 講 習、講 話、圖 書 館 ノ 施 設、雜 誌 ノ 發 行、學 事 視 察、優 良 兒 童 ノ 表 彰、教 育 功 勞 者 ノ 表 彰、就 學 獎 勵、教 員 ノ 養 成 等 ニ シ テ 地 方 教 育 上 貢 獻 シ ツ ツ ア リ

教育ニ關スル法人

教 育 ニ 關 ス ル 法 人 ハ 現 在 數 十 八 團 体 ア リ 内 社 團 法 人 八 團 体 財 團 法 人 十 團 体 ナ リ

青 年 訓 練 所

青 年 訓 練 所 ハ 縣 下 各 市 町 村 ニ 設 置 セ ラ レ ア リ 現 在 數 公 立 四 百 所 私 立 三 所 ナ リ 而 シ テ 實 業 補 習 學 校 ノ 充 當 ニ 就 テ ハ 青 年 訓 練 所 令 ノ 本 旨 ヲ 稽 ヒ 之 ガ 實 施 ニ 當 リ テ ハ 補 習 學 校 ト 連 携 ヲ 充 分 ニ 保 チ 指 導 員 モ 又 補 習 學 校 職 員 ヲ 囑 託 シ ツ ノ ア リ 又 私 立 青 年 訓 練 所 ハ 三 所 ト モ 工 場 ニ 設 置 シ ア リ 訓 練 生 ハ 其 ノ 工 場 ニ 雇 傭 セ ル モ ノ ヲ 收 容 シ 居 ル カ 爲、入 所 出 席 共 ニ 其 ノ 歩 合 良 好 ニ シ テ 訓 練 ノ 實 績 亦 優 良 ナ リ

訓 育 ノ 狀 況 ニ 就 テ ハ 學 科 ハ 學 校 職 員、教 練 ハ 在 鄉 軍 人 タ ル 指 導 員 之 ヲ 擔 當 シ 教 練 ニ 關 シ テ ハ 銃 器 ヲ 購 入 ス ル 訓 練 所 逐 年 增 加 シ 其 ノ 經 營 ニ 關 シ テ ハ 苦 心 ノ 跡 著 シ キ モ ノ ア リ、就 中 各 郡 ヲ 數 部 ニ 分 チ 聯 合 演 習 ヲ 催 ス ル モ ノ、行 軍、軍 事 視 察、演 習 參 觀、其 ノ 他 体 育、智 識 ノ 發 達、軍 事 思 想 ノ 收 得 ニ 努 メ ヲ ア リ、出 席 獎 勵 ニ 就 テ ハ 可 成 年 中 持 續 的 ニ 訓 練 ヲ 施 ス 様 教 育 ノ 豫 定 ヲ 立 案 シ 農 繁 期 ト 雖 モ 必 ス 一 週 二 回 ノ 召 集 訓 練 ヲ 實 施 ス ル 様 勸 誘 シ 目 下 ノ 狀 況 ハ 學 科 ハ 夜 間 ニ 教 練 ハ 通 年 的 ニ 晝 間 實 施 シ ア リ 入 所 及 退 所 ノ 狀 況 ハ 良 好 ナ ル 成 績 ヲ 示 シ 教 練 査 閱 ノ 結 果 ハ 其 ノ 成 績 亦 大 ニ 良 好 ナ ル ヲ 認 メ ラ ル

學事ニ關スル講習及旅行

(イ) 教 員 講 習 ハ 縣 主 催 ニ テ 十 二 回 開 催 シ 講 習 日 數 百 五 十 九 日 講 習 人 員 二 千 三 百 七 十 一 人 ニ シ テ 各 科 共 實 際 的 研 究 ヲ ナ シ 執 レ モ 相 當 ノ 效 果 ヲ 收 メ タ ル モ ノ ト 認 ム

(ロ) 學 校 長 教 員 保 姆 ノ 學 事 研 究 並 ニ 視 察 ニ 關 ス ル 旅 行 ノ 狀 況 ニ 就 テ ハ 其 ノ 教 授 ノ 徹 底 ヲ 期 ス ル 爲 メ 經 費 ノ 許 ス、限 リ 努 メ テ 各 科 教 授 研 究 又 ハ 管 内 管 外 ノ 學 校 ニ 出 張 シ 經 營 施 設 ノ 狀 況 並 ニ 教 授 訓 練 ノ 實 際 等 ヲ 視 察 シ タ ル ヲ 以 テ 相 當 其 ノ 實 益 ヲ 收 メ 得 タ ル モ ノ ト 認 メ ラ ル 旅 行 調 次 表 ノ 如 シ

[illegible]

2、學校看護婦ニ付テハ未タ設置ノ學校ヲ見サルモ最近コトニ其ノ必要ヲ認メ自治的ニ之カ豫算ヲ計上セントスルモノアルニ至レリ

3、衛生設備、教授衛生、体育運動ニ關スル狀況

(イ)、衛生設備ニ就テハ先ツ校地ノ選定及校舍ノ建築等ニ校醫ト協調ヲ遂ケ其ノ他、屋外体操場、便所、水呑所、井戸、寄宿舍、教授用機具機械等ノ改善ニ留意シツツアリ

(ロ)、教授衛生トシテハ通學最遠里程及方法、學級人員、授業時間後ノ休息睡眠時間等ニ留意シ尙毎學期一回以上座席交換、最前列兒童ト教壇トノ距離、机ノ配列、机腰掛ノ位置、釣合、季節的時間割ノ變化、劣等兒教育、病的兒童ノ取扱等ニ對シ學校醫ト協力シ努メツツアリ

(ハ)、体育運動ノ振興ニ關シテハ逐年其ノ氣運ハ向上セラレ女子中等學校、体育聯盟及指導者体育聯盟等ヲ組織シ最近男子中等學校ニ於テモ之レカ實現化セラレムトシツ、アリ相當運動獎勵ニ努力シ、各校共運動デーヲ設ケ、運動會開催多數校聯合シ試合及運動會ヲ開催スル等相當效果ヲ收メツツアリ

4、職員生徒兒童ノ健康狀態ニ關スル狀況

(イ)、職員疾病ニ依リ退職休職死亡者ハ左ノ通りニシテ概シテ少ナク、良好ナル成績ヲ舉ケツツアリ

	退 職 者	休 職 者	死 亡 者
小 學 校 職 員	26	34	14
補 習 學 校(專任者)	1	—	1
中 等 學 校 職 員	3	—	2
計	30	34	17

(ロ)、生徒兒童ノ健康狀態ノ優良ナラサルモノハ其ノ主タル病類別ヲ見ルニ齲齒、トラホーム、寄生虫、扁桃腺肥大脊柱、後灣等ニシテ校醫モ之レカ豫防及加療ニ付テハ相當盡カセラレツツアリ

5、發病豫防及治療施行ノ狀況

學校職員生徒兒童ニ於テ身体ニ異狀アル者ニ對シテハ直ニ校醫ノ診療ヲ求メ其ノ病狀ニ依リ入院又ハ歸宅治療ヲ命スル等萬遺憾ナキヲ期シツツアリ

6、學校給食ニ關シテハ貧困兒童ニ對シ辨當ヲ給シ又ハ短期間ニ於テ牛乳等ヲ給與スル學校モアリ

縣 會 及 市 町 村 會

縣市町村會ニ於ケル學事ニ關スル議事ノ狀況ハ慎重ニ審議セラレ協賛ヲ與ヘ漫リニ削減ヲ加ヘルコト無ク穩當ノ決議ヲナスノ狀況ニアリ

學事關係職員及學事視察

本縣學事關係職員ハ書記官一人、地方事務官一人、地方視學官一人、學校衛生技師一人、社會教育主事一人、視學七人、屬十人、社會教育主事補一人、實業補習教育主事一人、雇四人、囑

託一人、市ニアリテハ主事一人、視學一人、書記一人ナリ

本年度學事視察ハ視學官、師範學校長、視學ハ專ラ學校設備、教授訓練養護ノ良否並ニ教育事務ノ整否ヲ社會教育主事及社會教育主事補ハ專ラ青年訓練所、青年團、女子青年團ノ經營狀況ヲ視察シ實業補習教育主事ハ補習教育ニ關シ學校衛生技師ハ專ラ學校衛生ニ關スル視察ヲ爲ス而シテ小學校ニ就テハ詳密視察、概要視察ノ外教授ニ亙リ視學合同視察ヲ行ヒテ徹底的ニ視察ヲナシタリ、又市町村ニ於テハ三名乃至十五名ノ學務委員ヲ置キ夫々區内ノ教育事務ニ關シ市町村長ヲ補佐シ機會アル毎ニ學校ニ臨席シ諸般ノ設備其ノ他ニ關シ委員會ヲ開キ就學出席ノ督勵ニ努メ相當活動見ルヘキモノアリ

本年度學事關係職員並師範學校長學事視察ノ狀況ハ次表ノ如シ

學事關係職員並師範學校長學事視察調

	長知	官事	學務部長		視學官		地事務官		視學		屬		社會教育主事		師範學校長		計			
																	回數		日數	
																	回數	實數	延數	實數
小學校	—	—	2	3	8	26	3	3	177	618	—	—	—	—	7	13	953	197	665	663
師範學校	1	1	1	1	4	4	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	7	7	7	7
中學校	1	1	3	6	9	22	3	5	—	—	—	—	—	—	—	—	37	16	35	34
高等女學校	1	1	3	5	4	14	3	5	—	—	—	—	—	—	—	—	28	11	26	25
實業學校	—	—	2	2	8	17	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	21	12	24	22
實業補習學校	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2	2
實業補習學校教員養成所	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1
盲學校	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1
聾啞學校	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1
各種學校	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2	2
青年訓練所	—	—	2	2	—	—	2	3	—	—	—	—	21	40	—	—	63	25	45	45
幼稚園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合延數	3	3	20	20	99	93	22	22	912	618	—	—	53	40	7	13	1,121	—	809	—
計實數	3	3	14	20	37	87	16	22	177	618	—	—	21	40	7	13	—	275	—	803

學 事 獎 勵

學事獎勵ニ關シテハ從來ノ施設ヲ繼承シ本年度ニ於テハ實業學校、實科高等女學校、教育會、青年會、育才會等ニ對シ補助金ヲ交付シ小學校教員住宅設備費、研究會、社會事業ノ補助、獎勵ヲナシ、又教育功勞者及優良ナル學校ノ表彰ヲ行ヒ貧困ノ爲メ就學シ得サル兒童ノ保護救濟ヲナス等銳意教育ノ普及振興ニ努メツツアリ

將來學事施設上須要ノ件

(イ)、學校ノ設備ノ改善並ニ内容ノ充實ヲ圖ルコト

(ロ)、就學事務ヲ改善シ貧困兒童ノ保護救済ヲ全カラシメ以テ義務教育ノ徹底ヲ期スルコト。

(ハ)、時代ノ趨勢ニ鑑ミ道德教育ノ向上ト國家觀念ノ涵養ニ努ムルコト

(ニ)、高等小學校ニ於テハ實業科、家事科、手工科ノ設備ヲ完成シ學科擔任制ヲ加味シ内容ノ改善充實ヲ期スルコト

(ホ)、師範教育ノ改善並ニ設備内容ノ充實ヲ期スルコト

(ヘ)、中等教育機關ヲ増設シ教育ノ機會均等ヲ圖ルコト

(ト)、教員ノ實力養成ト資格ノ向上ヲ期シ服務意識ヲ一層旺盛ナラシムルコト

(チ)、通年制實業補習學校ノ設置ヲ獎勵シ専任教員ノ増加ヲ圖リ又季節制ノ長所ヲ益々發揮セシムルコト

(リ)、補習學校教員養成機關ノ整備ヲ圖ルコト

(ヌ)、青年訓練ノ徹底ヲ期スルコト

(ル)、青年團及女子青年團ノ振作發展ヲ圖ルコト

(ヲ)、成人教育公民教育ノ振興發達ヲ期スルコト

(ワ)、各種教化團體ノ振興ヲ圖リ其ノ他完全ナル自治ヲ期スルコト

公學費及公學資産

昭和四年度ニ於ケル公學費總額ハ八百六萬六千五十二圓ニシテ内縣經濟ニ屬スルモノ百七十四萬五百四十六圓市經濟ニ屬スルモノ十七萬五千八百五十二圓町村經濟ニ屬スルモノ六百十四萬九千六百五十四圓ニシテ前年ニ比スレハ總額ニ於テ九十四萬三千二百三十四圓乃チ一割五厘ノ減少ヲ示セリ

其ノ増減ヲ前年度ニ對比スレハ次表ノ如シ

	公 學 費		支 出 額	
	前 年 度	本 年 度	前 年 度 比 較	増 減
縣	1,756,709 ^円	1,740,546 ^円	—	16,163 ^円
市	227,375	175,852	—	51,523
町 村	6,965,802	6,149,654	—	816,148
計	8,949,886	8,066,052	—	883,834

尙種別ニ依リ前年度ニ對比スレハ次表ノ如シ

	公 學 費		支 出 額	
	前 年 度	本 年 度	前 年 度 比 較	増 減
小 學 校	6,276,022 ^円	5,415,193 ^円	—	860,829 ^円
師 範 學 校	350,775	306,738	—	44,037
中 學 校	600,677	468,356	—	132,321
高 等 女 學 校	341,712	396,573	54,861	—

	公 學 費 支 出 額			
	前 年 度	本 年 度	前 年 度 比 較	
			増	減
實 業 學 校	753,172 ^円	828,962 ^円	75,790 ^円	— ^円
實業補習學校教員養成所	11,156	10,822	—	334
盲 學 校	21,688	11,844	—	10,204
聾 啞 學 校	7,421	8,327	906	—
圖 書 館	18,108	16,990	—	1,118
教 育 參 考 館	2,274	2,103	—	171
青 年 訓 練 所	179,505	188,456	8,951	—
其 他	387,376	412,048	24,672	—
計	8,949,886	8,066,052	—	883,834

而シテ増減ノ主タル理由ハ師範學校ニ於テハ前年増築アリタルニ依リ、中學校ニ於テハ前年増設ニ依リ器具、器械ノ充實、増築トノ結果ニ依ル、高等女學校ノ本年増シタルハ太田高等女學校ノ敷地設定及校舍建築ヲ爲シタルヲ主トシ實業學校ノ増加シタルハ結城農學校、湊水産商業學校ノ町立ヨリ縣立ニ又大子、鹿島、笠間農學校ノ乙ヨリ甲ニ昇格シタル結果、器具機械ノ充實ニ依ル盲學校ニ於テ減シタルハ前年増築シタルニ依リ小學校ニ於テハ學齡兒童ノ増加ニ伴ヒ自然經常費ニ於テハ増加シタルモ臨時費ニ於テ支出少キ爲總額ニ於テ減少セリ青年訓練所ニ於テハ年々普及ニ伴ヒ増加シツツアリ公學費收入總額ハ三百九萬八千七百十九圓ニシテ縣經濟ニ屬スルモノ七十三萬四千六十九圓市經濟ニ屬スルモノ八萬六千七百三十三圓町村經濟ニ屬スルモノ二百二十七萬八千五百七十七圓ニシテ前年度ニ比シ二萬五千二百二十九圓乃チ零割零分八厘ノ増加ヲ示セリ之レカ主タル原因ハ生徒兒童ノ増加ニ伴フ授業料ノ結果ニシテ其ノ増減ヲ前年度ニ對比スレハ次表ノ如シ

	公 學 費 收 入 額			
	前 年 度	本 年 度	前 年 度 比 較	
			増	減
縣	647,783 ^円	734,069 ^円	86,286 ^円	— ^円
市	82,876	86,073	3,197	—
町 村	2,342,931	2,278,577	—	64,354
計	3,073,590	3,098,719	25,129	—

學校基本財産ハ現金預金及有價證券ニ於テ市ハ一萬三千二百四十九圓町村ハ八十八萬三千七百三十二圓計八十九萬六千九百八十一圓、土地ハ町村ノミニシテ二百一萬九千五百四十坪ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ金額ニ於テ七萬七千五百四十三圓、土地坪數ニ於テ三千九百七十九坪ヲ増加シタリ又積立金ハ市五千九百四十九圓町村十七萬九千六百五十三圓計十八萬五千六百二圓ニシテ前年度ニ比シ四萬三千二百二十八圓ヲ増

加セリ而シテ之等金額ノ管理ニ付テハ銀行、郵便貯金ニ依ルモノ多ク有價證券之ニ次
キ何レモ確實ナル方法ニ依リ利殖ヲ圖リ又土地中田畑ハ貸付、森林其ノ他ニ就テハ植
樹ヲ爲ス等將來收益ノ途ヲ講シツツアリ

教育資金

本年度小學校設備費トシテ貸付シタル金額ハ一萬一千五百圓、教育獎勵其ノ他普
及改善ニ支出シタル普通教育獎勵金ハ三千三百五十六圓三十四錢小學校教員疾
病療治料一千四百六十圓計一萬六千三百十六圓三十四錢ニシテ本年度戻入タル
金額ハ三萬五千三百八十九圓資金ヨリ生スル收入八千七十一圓三十四錢ナリ而
シテ本年度末現在貸付金額九萬八千四百七十六圓四十六錢ナリ

教育及學藝ニ關スル資金ノ類

學事獎勵ノ爲メ獎學資金ヨリ本年度ニ於テ支出シタル金額ハ六千四百七十二圓
十八錢ニシテ縣立學校優良生徒ヲ表彰シ夫々賞品ヲ授與シタリ年度末現在高ハ
七千六百三十七圓七錢八厘ナリ

徳川獎學基金ニ於テハ獎勵費三百圓ヲ支出シ年度末現在高ハ一萬百二十圓九錢
ナリ

兒童就學獎勵資金

大正十三年御下賜アラセラレタル資金二萬三千八百六十三圓ヲ蓄積シ之ニ縣ニ
於テ毎年相當金額ヲ資金ニ編入シ尙之ヨリ生スル收入ヲ以テ本年度ニ於テ一萬
七百三十八圓ヲ支出シ貧困兒童獎勵金ヲ交付セリ年度内ニ於ケル市町村貧困兒
童獎勵ノ狀況ヲ示セハ次表ノ如シ

市町村兒童就學獎勵費給與狀況

種 別	受 給 人 員			支 給 金 額
	男	女	計	
教 科 書	71	70	141	115
學 用 品	1,348	1,155	2,503	1,981
教科書及學用品	1,039	931	1,970	4,484
被 服	375	278	653	1,174
被 食 費	15	7	22	245
被服、教科書、學用品	32	24	56	472
學用品、被服、食費	5	5	10	150
雨 傘、履 物	84	38	122	140
現 金	36	37	73	346
學 用 品、被 服	7	6	13	100
計	3,012	2,551	5,563	9,207

男女青年國體事業獎勵資金

大正十四年御下賜アラセラレタル資金一萬八千圓ヲ蓄積シ之ニ對シ縣ニ於テハ

相當金額ヲ資金ニ編入シ之ヨリ生スル收入ヲ以テ本年度ニ於テ千二百四十四圓九十四錢ヲ支出シ体育指導及處女會指導ニ努メタリ

市町村小學校教員加俸資金

市町村立小學校教員加俸資金ハ總額十萬一千八百三十七圓三錢ニシテ年功加俸支給金額九萬六千四百十五圓八十三錢、特別加俸五千三百十四圓、恩給基金納金九百八十二圓八十七錢ニシテ此ノ差額百二十四圓三十三錢ヲ翌年度ニ繰越シ銀行ニ預金シアリ

公立學校職員年功加俸資金

公立學校職員年功加俸資金ハ總額六萬千九百七十三圓六十六錢ニシテ年功加俸支出金額ハ六萬一千百十三圓七十九錢ニシテ國庫納金五百十四圓二十五錢恩給基金納金六十圓六十八錢ナリ而シテ其ノ差額二百八十四圓九十四錢ヲ翌年度ニ繰越シ預金シタリ

市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル交付金

市町村義務教育費國庫負擔法ニ依リ本年度管内市町村ニ交付セラレタル金額ハ百八十九萬八千二百七圓ニシテ其ノ大部分ハ教員ノ俸給及住民負擔ノ輕減ニ充當シタルヲ以テ市町村經濟ヲ幾分緩和スルニ至リタルモノト認メラル之カ支途金額ヲ區別シタル前年度總額ニ比スレハ一萬三千九百二十四圓ノ増加ナリ支途ニ依リ種別スレハ次表ノ如シ

種 別	市	町	村	計
教員 俸給ニ 充當 シタル金額	34,326 ^円	268,627 ^円	17,556 ^円	1,019,944 ^円
教員 増俸ニ 充當 シタル金額	—	10,901	35,795	46,696
教育施設改善ニ充當シタル金額	—	42,224	83,258	125,484
住民負擔ノ輕減ニ充當シタル金額	—	99,567	522,272	621,839
他ノ 經費ニ 充當 シタル 金額	—	29,276	54,968	84,244
計	34,326	450,032	1,413,849	1,898,207

公學費及公學資産増減理由

縣本年度支出總額ハ百七十四萬五百四十六圓ニシテ前年ニ比シ一萬六千六百六十三圓ヲ減シタルハ主トシテ新營費ノ減少ニシテ收入總額ノ八萬六千二百八十六圓増加シタルハ生徒増加ニ依リ授業料ノ徴收多カリシト國庫補助額ノ増額ニ因ル土地ハ敷地三十五萬七千四百三十一坪附屬地八萬六千六百三十五坪建物ハ教場一萬二千六百六十八坪其ノ他二萬八千四百九十七坪ニシテ前年ニ比シ敷地三萬一千三百六十二坪附屬地五十四坪教場八百二十九坪其ノ他九百七十二坪及土地價額乃至器具價額ニ於テ五十六萬四千二百六十四圓ノ増額ヲ見タルハ太田高等女學校ノ敷地新設並ニ校舍建築ト湊水産商業及結城農學校ノ町立ヨリ縣ニ移管シタルト大子、鹿島、笠間ノ乙ヨリ甲ニ昇格シタル結果内容ノ充實改善ノ爲ナリ

市本年度支出總額ハ十七萬五千八百五十二圓ニシテ前年ニ比シ五萬千五百二十三圓ヲ減シタルハ主トシテ前年新營費ノ支出アリタルニ本年無キ爲ナリ收入總額ハ八萬六千七十三圓ニシテ前年ニ比シ三千百九十七圓ヲ増加シタルハ授業料及縣費補助アリタルニ依ル公學資產ノ土地坪數、建物坪數ニ於テハ前年ト差異ナキモ土地價額乃至器具價額ニ於テ前年ニ比シ二十二萬八百十八圓ヲ減シタルハ主トシテ建物價額ニシテ時價ニ見積タル結果ニ依ル。

町村本年度支出總額ハ六百十四萬九千六百五十四圓ニシテ前年ニ比シ八十一萬六千一百四十八圓ヲ減シタリ其ノ主タルモノハ結城農學校、湊水產商業學校ノ町立ヨリ縣立ニ移管ト圖書器械標本費、器具費、消耗品費、新營費ノ減シタル結果ニ因リ收入總額ハ二百二十七萬八千五百七十七圓ニシテ前年ニ比シ六萬四千三百五十四圓ヲ減シタルハ主トシテ授業料、寄付金ノ收入少キニ依ル又公學資產土地坪數敷地百二萬一千七百二十一坪附屬地六萬六千四百四坪建物坪數教場十二萬二千百二十坪其ノ他六萬一千三百七十二坪ニシテ前年ニ比シ敷地八千九百三十六坪附屬地四千七百九十九坪教場六百五十四坪其ノ他二千六百三十三坪増加シタリ又土地價額乃至器具價額ニ於テハ時價ニ見積タル結果八萬八千八百八十一圓ノ減少ヲ見タリ。